

2009 年度政治思想学会研究会プログラム

日程：2009 年 5 月 23 日（土）・24 日（日）
会場：青山学院大学 青山キャンパス

政治思想と周縁・外部・マイノリティ

5 月 23 日（土）

- 10:00－13:00 **シンポジウムⅠ 国際社会とマイノリティ** 9号館 - 940 教室
司会
押村高（青山学院大学）
報告
伊藤恭彦（静岡大学） グローバリゼーション・リベラリズム・周縁化
神島裕子（早稲田大学） グローバル化時代の女性とケイパビリティ
——マーサ・ヌスバウムの本質主義とその検討
大賀哲（九州大学）
越境される〈境界線〉と越境されざる〈境界〉におけるマイノリティ
——マルチチュードからラチチュードへ
討論
大中一彌（法政大学）・田村哲樹（名古屋大学）
- 13:00－14:15 休憩 [理事会]
- 14:15－17:15 **シンポジウムⅡ 政治思想史におけるマイノリティ** 9号館 - 940 教室
司会
齋藤純一（早稲田大学）
報告
井柳美紀（宮城教育大学） 文明社会の再考
——近代フランスにおける航海記とその影響
大久保健晴（明治大学）
幕末・明治期日本における「万国公法」受容の政治思想史的意義
——19 世紀ヨーロッパ国際体系をめぐる周縁からの眼差し
菅野聡美（琉球大学） 日本における周縁化
——何が周縁？なぜ周縁となるのか？
討論
渡辺浩（東京大学）・堤林剣（慶應義塾大学）
- 17:20－17:50 総会 9号館 - 940 教室
- 18:00－20:00 懇親会 青学会館 - 宴会場「ナルド」

5月24日(日)

● 9:30-12:30 **自由論題セッション**

15号館 - 各教室

分科会 A

*司会 向山恭一(新潟大学)

石川涼子(早稲田大学) デモクラシーによる包摂 / 排除と多文化主義
——カナダにおける事例から

大河原麻衣(首都大学東京大学院) 社会的公正と主観的理解を巡るジレンマ
——承認論の今日的課題とは何か

田中将人(早稲田大学大学院) ジョン・ロールズの社会観について
——現実主義的ユートピアの生成

分科会 B

*司会 小田川大典(岡山大学)

石川公彌子(東京大学大学院特任研究員) 昭和史における『近代国学』
——柳田國男、折口信夫、保田與重郎

高橋和則(中央大学兼任講師) トマス・ペインと宙吊りのアメリカ

原田健二郎(慶應義塾大学大学院)
ケンブリッジ・プラトニストにおける神学と政治の連関
——多元的教会・国家秩序構想と名誉革命

分科会 C

*司会 飯島昇藏(早稲田大学)

北村治(財団法人政治経済研究所主任研究員) アテナイのデモクラシーと戦争
——国際関係の古典的政治理論

永井健晴(大東文化大学) プラトンの政治哲学
——プラトン『国家』篇における「魂」と「国家」の
構成秩序に関する類比のコノテーション

浜田泰弘(成蹊大学非常勤講師) 文明と文化の対立からドイツ精神と西欧の総合へ
——トーマス・マンと E・トレルチ

12:30-13:30 休憩 [理事会]

○ 13:30-14:00 総会

9号館 - 940 教室

● 14:00-17:00 **シンポジウムⅢ 政治理論におけるマイノリティ**

9号館 - 940 教室

司会

岡野八代(立命館大学)

報告

山田竜作(日本大学) デモクラシーとフェミニズム

中川志保子(ヨーク大学) 自己定義の可能性

——シングルマザーの物語

後藤浩子(法政大学) 政治思想とマイナー性

——モルと分子

討論

李静和(成蹊大学)・有賀誠(防衛大学)